

キンキコルリクワガタ

兵庫県：要注目

Platycerus takakuwai akitai

環境省：

種の概要

体長♂8.5～11.5mm、♀8.5～10.0mm。♂は青みが強く、前胸背板は中央付近で幅広く、後方に狭まり、後角は多少突出する。♀は紫銅色または緑色をおびた唐金色で、短太で上翅は後方に強く膨隆する。成虫は秋に朽ち木内で羽化し、そのまま越冬、翌春早くから出現し、ブナやコナラなどの新芽に集まる。本種は当初コルリクワガタの亜種として扱われていたが、現在はトウカイコルリクワガタの亜種とされ、さらに最近では兵庫県北部の個体を別種ニシコルリクワガタ *P. viridicuprus* とする見解もある。ここでは、県内に生息するこれらの種群すべてを対象とする。



写真提供：森正人

国内分布

本州

県内分布記録

神河町、宍粟市、豊岡市、養父市、香美町、新温泉町



選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
			○		○

特記事項

保護上の留意点